

●輝きデルモンデⅡ 取扱説明書

★特徴★

鏡面加工された金属表面はサビや汚れですぐに曇りが発生してしまいます。本来サビを落とす物と鏡面に磨き上げる物とは別物でしたが、この2種類の研磨剤を配合する事で一つにしたのが本製品です。

GALESPEEDアルミポリッシュ・ホイールをテスト素材として、開発を行ってきたアルミを主体とした金属磨き剤です。

- 磨く力を必要としない
- 磨く時間が大幅に短縮される
- 液状のため拭き取りの手間が少ない

といった性能を持つ金属磨き剤が完成しました。
(ステンレス・チタンにも使用できます)

使用上の注意事項

- ※ 必ず容器本体の説明書を読んで、ご理解の上、作業を行ってください。
- エンジン・マフラーが冷えた状態で使用してください。
- 炎天下・強風の日・砂埃の多い日はキズの原因になりますので使用しないでください。
- ご使用前に、目立たない場所で試した後、異常がない事を確認してから使用してください。
- 必ず本体部分を持って振ってください。
- 容器を逆さまにしないでください。
- 人体には使用しないでください。
- 塗布後の放置や拭き残しは、色ムラの原因になります。
- 衣服への付着は、シミの原因になります。
- 皮膚に付着した汚れは石鹸等で落ちにくくなりますので、保護手袋等を使用してください。
- 使用後は必ず石鹸で手洗いをしてください。
- クリアーコーティングやメッキされた金属表面に使用すると表面を剥がす恐れがあります。必ず表面処理がされていないことを確認してください。
- 指定された金属以外には使用しないでください。

■ 使用方法 (アルミポリッシュの場合)

- 1、柔らかい布をご用意ください。
- 2、フタを閉じたまま、容器をよく振ってください。(ポイントA参照)
- 3、フタを開け容器本体を軽く押し溶剤を数的用意した布に塗布します。(ポイントB参照)
- 4、塗布した面を磨く箇所に当て、上下(前後・左右)の直線の動きで磨いてください。(ポイントC参照)
- 5、第一段階はざらついた感触があります。後にすぐ無くなりますが溶剤を継ぎ足す必要はありません。(ポイントD参照)
- 6、手に伝わる感触が軽くなり、黒い汚れが出てきますのでそのまま続けてください。(ポイントE参照)
- 7、ある程度ところで磨き部分から布を離してください。表面が乾き始めます。(ポイントF参照)
- 8、クロスで拭き取ってください。(ポイントG参照)

ポイントA 水色 一色に染まります。分離していた溶剤が完全に混ざった目安にしてください。

ポイントB 数滴で十分です。

ポイントC 強く押し付けたり、力を入れる必要はありません。軽く押してください。

ポイントD これは雪ダルマ状の研磨剤が潰れていく過程です。表面を慣らしサビを取る効果があります。

ポイントE 鏡面加工する為の工程に入ります。

ポイントF 乾かないようでしたら、液剤が機能している状態ですので、まだ磨く事が可能です。

ポイントG 磨きキズもなく、本来の輝きに近づいていませんか？

■ その他の金属のくすみ除去の場合

アルミのように汚れが黒く出てきません。様子を見ながら磨き過ぎないように注意してください。

※金属表面にクリアコーティングされている場合には使用しないでください。

●チタンの場合

チタンの表面処理にはヘアライン加工とバフ加工の2種類が一般的です。ヘアライン加工されたチタンの磨き過ぎると、表面の表情が変わります。表面の汚れを取る程度にとどめてください。

※AKRAPOVIC製サイレンサーに代表されるのがヘアライン加工です

●ステンレスの場合

マフラーなどの焼け色を取るものではありません。磨き過ぎの場合は焼け色の表情を変えてしまいますのでご注意ください。

●メッキの場合

メッキは樹脂や鉄・アルミなどの生地によって厚みが異なります。磨き過ぎによるメッキ剥がれにご注意ください。



品名：マイクロモモクロス
品番：28200067

